

# 『風は南から』

令和5年度 校長室便り  
(12月13日)(第19号)



## 修学旅行に参加しました!

12月4日(月)から8日(金)まで、4泊5日の2年生の修学旅行に同行させていただきました。船を利用する旅行は、私にとっても初めての経験でした。4日は生憎の雨。港も伊延港に変更になり、出発式もできずに船に乗り込みました。最後の2年3組が乗り込む時は土砂降りになり、風邪をひかないか心配な思いで出発しました。その心配もよそに生徒たちはとても元気で、夕飯を食べた後もカップラーメンを堪能していました。思ったよりも船は揺れずに、鹿児島新港に着きました。到着前に、船の中で生徒が二列に整然と並び、一般のお客さんにも配慮する姿に感心してしまいました。

着いた鹿児島も雨、待っていてくれたJTBの添乗員の黒木さんの誘導で、男女に分かれてバスで鹿児島空港へ。空港は修学旅行へ向かう高校生でごった返していました。何でもその日修学旅行に出発する高校が十数校とか。空港内で知っている多くの先生方と挨拶をすることになりました。そして、山川高校の生徒と同じ飛行機で羽田空港へ向けて出発。離陸の時の体が浮く感覚に、普通は「わあ」と歓声があがるものですが、さすがは飛行機にも慣れている沖高生は反応なしで、後ろの山川高校の生徒が期待にやぶられていました。

着くとバスに乗って東京駅へ。そこからグループに分かれて自由に散策。切符の買い方にも苦戦している様子でした。聞けば、原宿・渋谷・新大久保などお目当ての場所を巡って

買い物や食べ歩きを楽しんだようです。短い時間でお台場まで行った生徒がいることには驚きました。その後時間通りに集合して東京の高層マンションの夜景を見ながらホテルへ。次の日の朝は、ホテルで朝食を済ませ、一同歩いてディズニーランドへ。入口で

集合写真を撮って園内に入りました。中は平日にもかかわらず一般客や修学旅行の高校生でいっぱいでした。夜の8時まで一日中夢の国を満喫できたようでした。

4日目は、お弁当を食べながらバスに乗って浅草へ。浅草でも集合写真を撮った後自由に散策。外国の方も多く、鹿児島島の高校生にもたくさん会いました。再び集合して羽田空港へ。沖縄行きの飛行機は、スターウオーズ仕様の特別機。3時間のフライトでは

映画も見ることができ、窓からは沖永良部や与論も見えました。那覇空港でホテルのバスに荷物を乗せて生徒は国際通りへ散策。ホテルでは先生方で荷物を下ろしました。そして全員帰省して、ホテルで夕食。次の日は、朝の5時に起床してお弁当をもって乗船。天気も良く揺れることなく、無事に和泊港に着きました。船から沖高の校舎と体育館の青い屋根が見えた時に、帰ってきたことを実感しました。

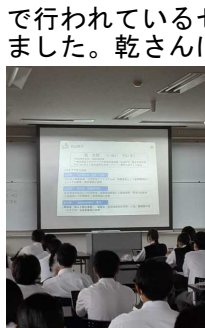
集合時間に遅れることなく、周りに配慮した行動ができる沖高生は、本当に立派な人たちだと改めて実感しました。



## 11月30日 立志塾(1年普通科)



1年普通科の「せりよさの時間(総合的な探究の時間)」では、沖永良部島の新たな魅力や課題を発見し、自ら学び、考える力を身につけることを目的に郷土で活躍されている方々を招いて講話を実施しています。



11月30日は、知名町役場企画振興課ゼロカーボン推進室の乾大樹氏に来ていただいて、沖永良部島で行われているゼロカーボンの取組について学習しました。乾さんには、知名町とヤマハ発動機とコラボしたEVバイク製作においてもお世話になっています。

まず、昨今の異常気象が沖永良部島にどのような影響を及ぼしているのか、その原因は温室効果ガスにあることを具体的に説明していただきました。そして、知名町と和泊町が島の課題を解決するために、脱炭素化を利用して、実際にどのような取組を行っているのか教えていただきました。再生化エネルギーや生ごみを利用した循環型の産業モデル等も紹介していただき、これからの持続可能な社会の創造について多くのヒントをもらえた気がしました。

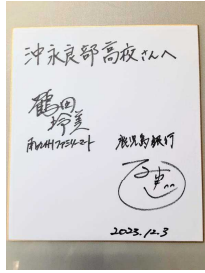
## 12月3日 おきのえらぶ陸上教室



かごしま国体で活躍された鶴田玲美(南九州ファミリーマート)選手と鐵丸美由紀(鹿児島銀行)選手が来島され、沖永良部島陸上教室が開催されました。小さな子供たちと一緒に本校の陸上部とサッカー部も参加しました。両選手とも、子ども達のやる気が出るように、分かりやすく丁寧に指導されていました。鶴田選手は東京オリンピックにも女子400Mリレーの選手として出場されています。途中で鶴田選手と話す機会をいただきました。毎日仕事を午後3時に終わってから、自分のトレーニングを始めるそうです。大会で良い成績を出すことももちろん大切ですが、自分の納得のいく走りやタイムを出すことが、自分のモチベーションにつながっていると話してくれました。また、今回のような陸上教室に何回も参加されているようですが、沖永良部の子ども達は特にみんな元気で素直な子ばかりで、楽しんで参加している姿を見ていると自分もパワーがもらえると話してくれました。鐵丸選手も華麗な背面飛びを何度も披露してくれました(国体では2位で182cmを跳んでいます)。



間近で一流の選手のパフォーマンスを見たり指導を受けたりすることで、参加者の次へのモチベーションも上がったことでしょう。この沖永良部島からも将来彼女達のような一流選手がきっと生まれるのではないのでしょうか。



(お二人に色紙を書いてもらいました!)